

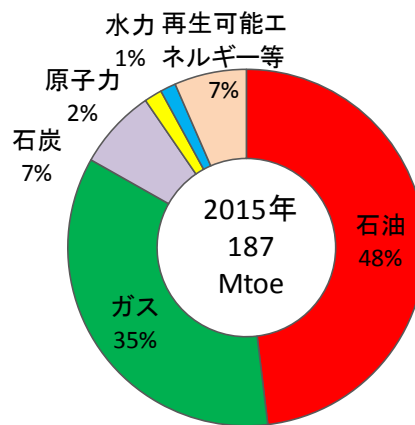
3-3 メキシコ

1. サマリー

1. エネルギー事情

- (1) 一次エネルギー供給量 (2015年) : 187 百万 toe (日本の 0.43 倍)
- (2) 一人当たりの一次エネルギー供給量 (2015年) : 1.55toe (日本の 0.45 倍)
- (3) エネルギー自給率 (2015年) : 105%
- (4) エネルギー起源 CO₂ 排出量 (2014年) : 430.9 CO₂ 換算 ton (日本の 36.3%)
- (5) 一人当たりエネルギー起源 CO₂ 排出量 (2014年) : 3.60 CO₂ 換算 ton (日本の 38.5%)
- (6) エネルギー別可採年数 (2015年末) : 石油 11.5 年、天然ガス 6.1 年、石炭 84 年

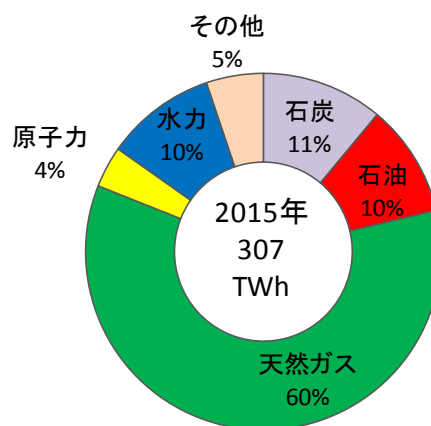
一次エネルギー供給構成 (2015年)



Country: Mexico

(出所) World Energy Balances 2016, IEA

電力供給構成 (2015年)



Country: Mexico

(出所) World Energy Balances 2016, IEA

2. エネルギー政策のポイント

(1) エネルギー政策担当機関

- メキシコのエネルギー政策機関はエネルギー省 (Secretaria de Energia : SENER) で、炭化水素(石油・ガス)、電力、計画・技術開発の3部門から構成されている。2016年12月末現在のエネルギー大臣は、Pedro Joaquín Coldwell氏である。
- エネルギー省の下には、石油・ガス事業を担う国営石油会社PEMEX(Petróleos Mexicanos)と、電力事業を担う電力公社CFE (Comision Federal de Electricidad)がある。また、国内の電力・天然ガス市場の事業や料金に係る規制などを行うエネルギー規制委員会(CRE)が設けられている。

(2) 基本政策

- 2013年2月発表の「Estrategia Nacional de Energía 2013-2027」が、2016年現在のエネルギー政策の基本となっている。エネルギー安全保障、経済効率性と環境性、持続可能性の達成を原則とし、自国が有する石油・天然ガス資源の生産量維持や、クリーンエネルギーの利用拡大によるエネルギーミックスの多様化、省エネルギーを進めている。

(3) 最近の動向

- 2016年2月、Pena Nieto大統領が米Houstonで開催された「CERAWeek会議」において、2016年4月からPEMEX以外の企業が、海外からガソリンや軽油を輸入することを初めて許可すると語った。目的は、民間投資の誘因と燃料部門の競争力強化。
- 2016年8月、SENERは「Round Two」の第2弾として、12の開発、生産鉱区の入札を実施すると発表した。12契約のうち9つは、Burgos盆地(Nuevo Leon州、Tamaulipas州)に位置しており、残り3契約はSureste盆地(Chiapas州、Tabasco州)に位置している。入札は2017年4月7日に実施される予定。

3. 日本とのエネルギー分野における関係

- 2014年7月、日・墨首脳会談において、メキシコのエネルギー部門改革を見据え、同国における石油やシェールガスなどの資源開発に向けて協力することで一致した。
- 2014年7月、原子力の平和的利用に関する協力推進を目的として、日・墨原子力協定締結交渉が開催された。
- 2004年以降メキシコからの原油輸入は停止されていたが、同国の政策変更により2014年から再開され、日本は2014年に約33万kl、2015年は233万klの原油をメキシコから輸入した。メキシコの原油輸出先として、日本は2014年の10位から2015年には4位に浮上し、米国、スペイン、インドに次ぐ、重要な原油輸出先となった。

2. 主要エネルギー指標

COUNTRY: Mexico

(2015年)

(1) 一次エネルギー供給量		187 Mtoe
(2) 一人当たりの一次エネルギー供給		1.55 toe/人
(3) GDP当たりの一次エネルギー供給		0.16 toe/千ドル
(4) エネルギー自給率		105 %
(5) エネルギー起源CO ₂ 排出量 (2014年)		430.9 百万CO ₂ 換算ton
(6) 一人当たりエネルギー起源CO ₂ 排出量 (2014年)		3.60 CO ₂ 換算ton/人
(7) エネルギー源別構成率	石炭	7 %
	石油	48 %
	天然ガス	35 %
	原子力	2 %
	水力	1 %
	再生可能エネルギー等	7 %
(8) エネルギーの輸入依存度		-5 %
(9) 石油の輸入依存度		-50 %
(10) 輸入原油の中東依存度		- %
(11) 原油の輸出先	第1位	米国 (61%)
	第2位	スペイン (10%)
	第3位	日本 (4%)

(出所) (1)～(4)および(7)～(9) : World Energy Balances 2016, IEA

(5)～(6) : CO₂ Emissions from Fuel Combustion 2016, IEA

(10)～(11) : Oil Information 2016, IEA